

作業療法学科 [3年制／男女]

AP

入学者の
受け入れ
方針
アドミッション
ポリシー

作業療法学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- ① 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- ② 作業療法を修得するために、高等学校の教育内容を幅広く学修している人
- ③ 自分の考えを伝えるためのコミュニケーション力・表現力を有している人
- ④ 保健医療福祉業界の専門職業人として社会に貢献する意欲のある人

CP

教育課程
編成・
実施の方針

カリキュラム
ポリシー

作業療法学科では、DPIに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- ① 1年次では、基礎分野科目と基礎医学・臨床医学の専門基礎分野科目を学び、基礎的知識、技能を身につける
- ② 2年次では、各専門分野について、段階的な講義・演習・実習の教育カリキュラムを通して専門知識と技能を身につけ、課題分析力を培う
- ③ 3年次では、医療福祉機関において臨床実習を行い、これまで習得した知識と技能の実践的活用方法と情熱をもって地域貢献できる使命感と探究心を育成する

DP

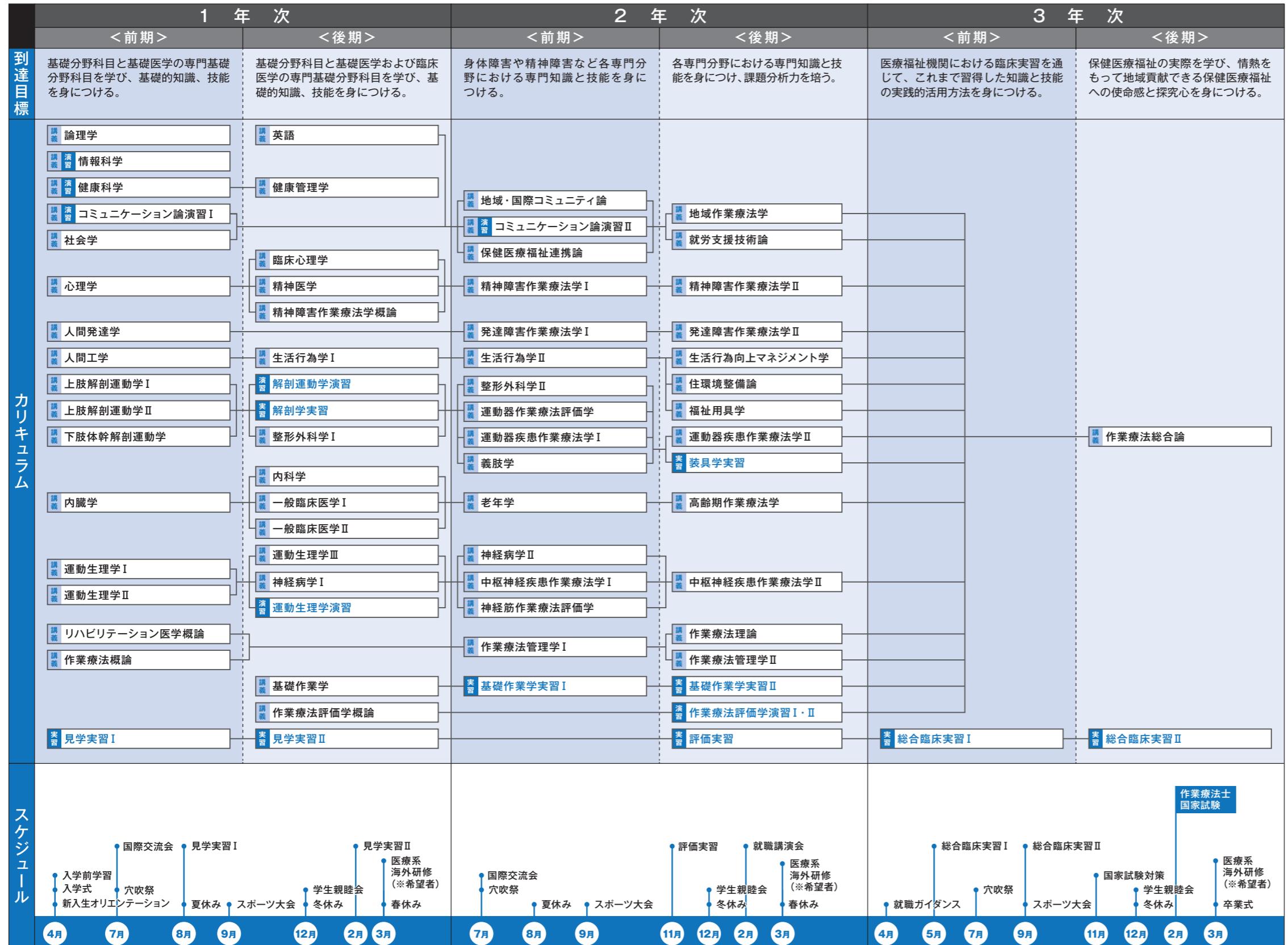
目指す
人材像
ディプロマ
ポリシー

作業療法学科では、履修規程に即して必要な単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- ① 地域社会・国際社会に貢献できる作業療法士の知識と技能を身につけている
- ② 対象者との信赖関係を築き、医療チームの一員として協同できるコミュニケーション能力を身につけている
- ③ 対象者が抱える問題解決を意欲的に取り組む姿勢を身につけている
- ④ 医療人としてのプロフェッショナリズムを身につけている

目指す資格

- 作業療法士 [国家資格]



主な科目内容	
心理学	こころのしくみと行動を科学的な方法で探し、作業療法を展開するために学ぶ。
論理学	授業や実習で必要な国語力の土台である読解力、文章作成能力を学ぶ。
社会学	家族、コミュニティなどの集団、組織および社会構造やその変動について学ぶ。
人間工学	人と環境、作業との関係性を学び、住環境整備論、福祉用具学につなげる。
健康科学	健康とは何か、コモモティブンドロームやサルコベニアについて学び、その防止に向けた体操を実践する。
上肢解剖運動学Ⅰ・Ⅱ	人体の構造と骨の働きや関節の基本構造・筋・神経・血管など総論を学び、上肢帯と手指の運動についての理解を深める。
運動生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	神経(中枢・末梢)・筋・感覚・循環(血液と心臓)・呼吸・代謝・内分泌などの生理学を学び、相関性を理解する。
人間発達学	発達の原則、発達理論、胎生期～老年期の発達(身体的、精神的の発達)ADL、遊びの発達等について学ぶ。
一般臨床医学Ⅰ・Ⅱ	救命救急医療をはじめ医学一般的な代表的な疾患について、その概要・症状および治療(薬物療法や栄養療法など)方法について習得する。
神經病学Ⅰ・Ⅱ	神經変性疾患や脱髄性疾患など、中枢および末梢神經疾患の病因・臨床症状・治療などについて学ぶ。
精神医学	精神症状や統合失調症、気分障害などの疾患について、その特徴的な症状や治療法について学ぶ。
健康管理学	健康の概念を理解し、作業療法士が対象者の健康増進、疾病的予防に関わる必要性を理解する。
保健医療福祉連携論	各領域における機関の役割と領域間での連携および地域包括ケアシステムについて学ぶ。
地域・国際コミュニティ論	コミュニティセンターの活動を担当者から話を聞いたり、各国のOTの状況等について調べ、地域や世界におけるOTの活躍を学ぶ。
作業療法概論	作業について、作業療法の領域、倫理、多職種連携、作業療法の目的について学ぶ。
作業療法理論	作業療法の歴史・理論概要、作業科学、人間作業モデルやカナダモデル、作業療法介入プロセスモデルなどの作業療法理論について学ぶ。
作業療法管理学Ⅰ・Ⅱ	作業療法業務に必要な物品管理・スケジュール管理・診療報酬・関係法規および研究法・教育法について学ぶ。
運動器作業療法評価学	筋力、上肢機能などの検査・測定について学習し、ICFからの問題点を抽出し、目標設定ができるようとする。
中枢神經疾患作業療法学Ⅰ・Ⅱ	脳血管障害や脊髄損傷など中枢神經疾患対象者の、急性期・回復期・生活期における関わりを学ぶ。
発達障害作業療法学Ⅰ・Ⅱ	小児の正常発達について学び、脳性麻痺や自閉スペクトラム症などの発達障害の作業療法について、障害特性・評価・アプローチ方法を学ぶ。
精神障害作業療法学Ⅰ・Ⅱ	統合失調症をはじめ、気分障害・パーソナリティ障害・神経症障害などの精神障害の作業療法について、障害特性・評価・アプローチの方法を学ぶ。
高齢期作業療法学	高齢者の動向、制度の変遷、高齢期における作業療法実践、認知症、高齢期の終末期について学ぶ。
生活行為学Ⅰ・Ⅱ	基本動作の見方、日常生活活動の基本的考え方などを学び、各生活行為の特徴を観察・分析して、その改善に向けた指導法について学ぶ。
住環境整備論	バリアフリーやユニバーサルデザインおよび住宅改修について学ぶ。
福祉用具学	福祉用具全般(種類や使用法、適応やリスク管理など)について学び、自助具を作製する。